





# 年頭にあたり

釧路丹頂農業協同組合

代表理事組合長 武藤 清隆



国民の求める食材を供給しているという自負を改めて認識すべきではないでしょうか。

組合員並びに役職員の皆様、新年明けましておめでとうございませう。希望に満ちた平成三十一年の新春を、御家族お揃いで迎えられました事を心よりお慶び申し上げます。

常時を想定し発電機の導入を推進しておりました。その保有率が44%という事ではありましたが、保有されていた組合員の皆様におかれましては、大きな混乱もなく日常の作業が出来た事は、それなりの成果でありました。しかし乳業工場が停電で稼働できず、結果当農協では未搾乳も含めて450トンの程の廃棄を余儀なくされました。

昨年は、ここ数年常態化してきます自然の驚異にさらされた一年でありました。3月の初旬には季節はずれの大雨に見舞われ、牛舎の水没、供水により営農に大きな支障があった他、春先の低温干ばつ更には、一番草収穫時の長雨、そして日照不足等によるデントコーンの成育不足等々挙げればきりがない程天候不順に悩まされました。そこへ追い打ちを掛ける様に9月6日早朝に発生した胆振東部地震による長時間にわたる停電であります。ブラックアウトというその言葉すら初めて耳にする全道295万戸にも及ぶ大停電が発生し、その対応に追われました。当農協では数年前の停電を教訓に非

常時を想定し発電機の導入を推進しておりました。その保有率が44%という事ではありましたが、保有されていた組合員の皆様におかれましては、大きな混乱もなく日常の作業が出来た事は、それなりの成果でありました。しかし乳業工場が停電で稼働できず、結果当農協では未搾乳も含めて450トンの程の廃棄を余儀なくされました。汗水流して生産した牛乳を廃棄せざるを得なかった事は、生産者として断腸の思いであり二度とこの様な事をおきない様、農協JAGグループとして関係機関に強く働き掛けをしていきたいと思っております。一方今回の事で学んだ事、気付いた事もいくつかあります。一つは牛乳乳製品が停電直後から一斉にスーパーの棚から消え、通電後もこれらを求める消費者が後を絶たなかった事から、今や食卓には欠かせない食材になってきている事を気付かされました。今私達は、

また停電時における組合員同志の助け合いも改めて実感したところです。今世界から評価される協同組合の精神ですが、残念ながら世界・国内において、新自由主義の台頭により失われつつある協同組合の一丁目一番地である相互扶助の精神が発電機の貸借等を通して生きていた事に感謝をしたところです。

今農協では、第3次中期経営計画を策定中です。この中での本格的な考えは、組合員の所得の確保が大前提であるのはもちろんですが、同時に農協としての大きな役割である地域インフラの維持であります。生産活動と生活の場が一体として維持されなければ、持続可能な酪農経営の確立は出来ないと考えます。その為には、色々な機会をとらえ発信させていたただいています機構改革はさけて通れないステップと考えています。どうか御理解をいただいでJAGグループ北海道の「めざす姿」の実現に向けて心一つにして参りましょう。

数年前から当農協の組合員の中

にも将来を見据え大型投資をし、規模拡大によるコストの低減に取り組む事例が少しづつ出て来ました。規模拡大だけがすべてではありませんが、今回の大停電時でも実感した様に、消費者は安全安心の牛乳乳製品を求めている事が良くわかりました。合わせ乳業各社も国産生乳からでなければ今の乳製品は出来ないとまでいい切っています。今TPP11、日欧EPA、アメリカとのTAGの動きが将来不安としてあるのは、まぎれもない事実ではありますが、一方で国産乳に対するこだわりも相当あるのも事実です。我々はこのニーズを逃す事なく、今こそ生乳生産によって経営が成り立つ強い基盤作りに努めたいものです。農協とい

たしましては、これまで同様の対策をもって支援して参ります。中旬から始まります営農計画にはどうか前向きな取り組みをもって樹立されます様お願い致します。今年も今年も新しくなります。どうか気持ちも新たに、色々な事に挑戦する。としまし。結びに、今年一年が皆様にとりまして、穏やかで更なる飛躍の年になります様に御祈念申し上げます。年頭の御挨拶とさせていただきます。



## 年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章



組合員並びにJA役職員の皆様には、輝かしい平成31年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業は、春先は気温も高く、農作物の生育は平年並みで推移しましたが、7月の豪雨や台風21号により、農作物の倒伏や落果、農地・農業用施設の損壊など、全道各地域に甚大な被害が発生しました。

さらに9月6日に発生した北海道胆振東部地震により尊い命が失われるとともに、農畜産物や農業施設等に未曾有の被害が発生し、

道内全域が停電となる「ブラックアウト」の発生により、組合員の営農やJAグループ北海道・農業関係組織の集出荷、輸送、製造、保管体制に多くの影響が生じてしまいました。

現在、JAグループ北海道を挙げて、1日も早い、復旧・復興に向け、全力でその支援対策に取り組んでいるところであります。

作目別の作況をみますと、米は、作況指数が90の「不良」、小麦は、天候不順の影響により、収量・品質とも平年を下回る結果、てん菜は、収量・糖度とも概ね平年並み、生乳は、胆振東部地震の影響と、今後は飼料作物の品質低下等による生乳生産への影響が懸念されているところとす。

国際貿易交渉については、9月27日、日米両国が「日米物品貿易

協定」(TAG)の交渉開始に同意したことが発表されました。

今後、TAG交渉において、米国側から過去の経済連携協定で合意した以上の関税引き下げを求められる懸念があるため、その動向を注視していくとともに、農畜産物を犠牲にしない毅然とした対応を求めてまいります。

さて、昨年11月には、第29回JA北海道大会を開催しました。大会では、前回大会の決議事項を継承し、「農業所得増大」と「担い手確保・育成」の加速に取り組む

とともに、「サポーターづくり」の活動拡大として、地域を共に支える准組合員の皆さんのご意見の把握に、これまで以上に取り組みことを決議しました。

また、協同組合の原点を、あらためて見つめ直し、「新たな協同組合」の姿を継続的に討議することも決議しております。今後、組合員の多様な価値観やニーズに対応できる事業運営の展開を検討してまいります。

そして、この3年間の実践期間

のうちに、2019年5月には政府が進める「農協改革集中推進期間」の期限、2021年3月には「准組合員利用規制の調査期限」を迎えますが、JAグループ北海道としては、改革は自ら行うものとして、『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現に向けて、JAグループ一丸となって、大会決議事項の実践を通じた自己改革を進めてまいりたいと考えております。

結びになりますが、今年の干支は己亥(つちのとい)です。

亥には、「無病息災」や「安定した状態」で始動を待つ準備期間の意味があるとのことであり、今年はこの亥年にあやかり、災害がなく、そして組合員の苦勞が報われる実り多い豊穰の一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。



# 新年にあたり

釧路丹頂農業協同組合

代表理事専務 對木 範峯



新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様には、平成31年の輝かしい新年をご健勝でお迎えの事とお慶び申し上げます。日頃より組合員の皆様及び関係機関の皆様におかれましては、特段のご指導、ご協力を頂いております事から感謝とお礼を申し上げます。

昨年、目まぐるしく変化する国

際情勢の中、九月に米国で開催された日米首脳会談であらたに「日米物品貿易協定」(日米TAG)の交渉開始が合意され、TPP11の発効が確定した今、日欧EPA等、日本農業にとってこれまでにない水準の関税撤廃、削減を通じた貿易自由化の時代を迎えようとしております。

この様な中我々は、政府に対し酪農畜産経営の大宗を占める中小規模経営、家族経営等が広く活用

しやすい政策の充実が必要と強く訴えていかなければと考えます。

又、改正畜安法下で二年目となる平成31年度の加工原料乳生産者補給金を現行から8銭増の1kg当り8円31銭、集送乳調整金を6銭増の2円49銭で両単価を合わせるのと10円80銭となり、交付対象数量は現行の340万トンで決定されました。

さてJAにおいては、春先五月までは天候が順調に推移していたものの、六月に入り、低温、一番草収穫時期後半の長雨等により、粗飼料品質は個々の農場で格差が生じており、収穫の遅れによる二番草の減収、デントコーンについても台風の被害は免れたものの低温、日照不足がひびき減収が余儀なくされたところがあります。

生乳生産については、年度当初から順調な伸び率で推移しており

ましたが、予期せぬ9月6日の「胆振東部震災」により道内全域が停電となる「ブラックアウト」が発生し生乳の廃棄を余儀なくされたばかりではなく乳牛の体調にも影響が及ぶ等、多大な被害を受けました。

しかし乍ら酪農家の皆様の努力により組織年度(12~11月)では一〇一二九六トンとなり前年実績を上回る事ができました。

今後においては、農家戸数の減少が予想されますが、大型法人、TMRセンターの設立、規模拡大等による増産を期待する所であります。

一方組合員経済は、乳代単価の値上り、個体販売価格の高値安定等により、飼料、燃油等が高値傾向にあるものの、潤沢な資金繰りとなりました。

新年度においては、酪農畜産における生産環境の様々な変化や厳しさが予測される中、生産基盤強化に向けた経営計画が経営ビジョンの再構築を図るため畜産クラスター事業の継続的な取り組み、各種補助事業、JA助成事業等を有

効に活用できる様、地域の行政関係機関と連携し酪農畜産農家の所得と収益性の向上を目指して参りたいと考えております。

昨年11月のJA北海道大会で決議・採択された『北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」』、『協同組合の価値と実践』の推進を通して、更には、第三次「地域振興計画」、「中期経営計画」の樹立に向け、「組合員の皆様のご理解とご協力を得ながら策定していかなければと考えます。

今後共、JAが組合員の皆様の期待に応え農業経営の安定と向上を目指し、役員一丸となり組合員の皆様と決意を新たにしていまいる所存でありますので引き続きご指導とご協力を賜ります様お願い申し上げます。

皆様にとりまして、本年がご健勝とご多幸の一年となります様、心からご祈念申し上げます。新年の挨拶と致します。



## 新年のご挨拶

釧路丹頂農業協同組合酪農振興会

会長 折笠 文則

新年明けましておめでとうございます。

酪農振興会々員の皆様にはご家族揃って輝かしい新年を迎えられた事と思います。また旧年中は当振興会の事業に対しまして会員の皆様をはじめ諸関係機関のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。

昨年は10月にボウリング大会、11月に視察研修を行ないました。今回初めて行なったボウリング大会では新たな会員との交流が出来ましたし、視察研修では酪農機器メーカーの工場で製造、展示、実演までを見学することが出来、今後の省力化、ロボット化に向けた施設整備の参考になりました。

さて昨年の当農協の生乳生産ですが、ブラックアウトによる生乳廃棄があったにも関わらず、目標の10万トン超の実績になりました。

昨年は低温、長雨のために良質な粗飼料の確保が難しかった事から、今年の生乳生産に影響が出るものと考えられます。

酪農振興会では生乳生産や経営安定の一助になるよう2月に「酪農祭」を開催し、酪農技術に関する講演と懇親会を予定しております。また懇親会の中で平成30年の良質乳出荷農場の表彰式も予定しておりますので、会員皆様の参加をお待ちしております。

本年も酪農振興会の事業を通して会員相互の良い関係が更に広がり、強い結び付きになるよう事業を進めて参りますのでどうぞよろしく願います。今年一年皆様方のご健康とご多幸を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

釧路丹頂農業協同組合青年部

部長 對木 賢雅

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族揃いで輝かしい新年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。また、旧年中におかれましては、組合員の皆様、関係機関の皆様には特段のご支援、ご協力を賜りましたことを深くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、一番草収穫時期の長雨や、台風の上陸など、多くの自然災害に見舞われた一年でした。中でも九月に発生した北海道胆振東部地震では、北海道全域にわたる停電により、大きな被害を受けました。この様な時にこそ、青年部員が密に連絡を取り合い、情報を共有し、協力していくことの重要性を痛感しました。

青年部の活動としまして、例年行っている乳製品消費拡大運動では、コープさっぽろ星が浦店での牛乳の無料試飲を行いました。店舗の方や消費者への認知が広がり、活動の継続の重要性を再認識するとともに、我々生産者の思いを伝えることができました。

依然として酪農情勢は先行きが不透明で、厳しい状況ではありますが、我々青年部は国民の命を守る「食」に携わる者として強い信念を持ち、本年の干支である「亥」の如く猪突猛進、若い力で活気ある青年部活動を行っていきたく思います。結びになります。本年も組合員とご家族、そして関係機関の皆様方からのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。皆様方のご健康とご多幸を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



## 新年にあたり

釧路丹頂農業協同組合女性部

部長 舘山 順子

新年明けましておめでとうございます。ご家族の皆様と共に新しい年を迎えられましたことを嬉しく思います。旧年中は、女性部活動に対しまして特段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年6月に開催いたしました女性部交流会では、会場を鶴居村としまして、パークゴルフ場でいい汗を流し、グリーンパークつるいの焼肉コーナーで昼食をいただき、部員同士の親睦を深めました。

又、例年に続き行なっている牛乳乳製品消費拡大運動は、昨年もコープさっぽろ星が浦店で実施させていただきました。消費者の皆様と生産者の私達が触れ合う事で、牛乳・乳製品をより身近な食品だと感じていただきました。

本年におきましても、部員の皆様と共に協力し合い、食と農を基軸とした楽しいJ A女性部組織作りを目指し、J A運営にも参画、邁進して参ります。

最後になりますが、本年も関係機関の皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。皆様方のご挨拶とさせていただきます。



# JAくしろ丹頂組合員組織



あけましておめでとうございます。

<p><b>釧路丹頂農協女性部</b></p> <p>部長 館山 順子</p>	<p><b>釧路丹頂農協青年部</b></p> <p>部長 對木 賢雅</p>
<p><b>釧路丹頂農協酪農振興会</b></p> <p>会長 折笠 文則</p>	<p><b>釧路丹頂和牛改良組合</b></p> <p>組合長 菊地 和広</p>
<p><b>釧路丹頂農協馬事振興会</b></p> <p>会長 江崎 勝三</p>	<p><b>釧路丹頂農協乳牛改良同志会</b></p> <p>会長 瀧澤 一成</p>
<p><b>外国人研修生受入協議会</b></p> <p>会長 伊藤 順一</p>	<p><b>幌呂大型機械利用組合</b></p> <p>組合長 大碓 晋二</p>
<p><b>鶴居宮農組織代表者協議会</b></p> <p>会長 合田 徳三</p>	<p><b>鶴居村乳牛検定組合</b></p> <p>組合長 松井 俊治</p>



# JAくしろ丹頂組合員組織



本年もよろしくお願ひ申し上げます。

## 鶴居村酪農ヘルパー利用組合

組合長 菱 沼 和 也

## 白糠町乳牛検定組合

組合長 影 山 純

## 白糠町酪農ヘルパー利用組合

組合長 北 村 康 浩

## 音別町酪農ヘルパー利用組合

組合長 菅 原 善 伯

## 白糠町野菜生産組合

組合長 細 谷 照 雄

## 白糠町農民組合

執行委員長 鳴 海 聖 浩

## 白糠町農村青少年クラブ

会 長 五十嵐 大地

# JAくしろ丹頂 年始日程表

年月日	各地区の事務所			販 売		家畜改良	生 乳	哺育育成センター	幌 呂 育成牧場
	管理・共済	金 融	営 農	鶴居・幌呂	白糠・音別	鶴居・幌呂 白糠・音別			
平成31年 1月1日(火)							通常業務		
1月2日(水)						業務始め*			
1月3日(木)									
1月4日(金)		業務始め							
1月5日(土)		ATMのみ稼働							
1月6日(日)									
1月7日(月)	業務始め		業務始め	業務始め					

年月日	購買・鶴居			購買・幌呂			購買・白糠		購買・音別		
	生活店舗	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材
平成31年 1月1日(火)											
1月2日(水)							業務始め*				
1月3日(木)		業務始め			業務始め*						
1月4日(金)	業務始め 午後5時まで						午後6時まで		業務始め 午後5時まで	業務始め	
1月5日(土)	午後5時まで						午後6時まで		午後5時まで		
1月6日(日)											
1月7日(月)			業務始め	業務始め		業務始め		業務始め			業務始め

\*午前中のみ営業となります。

営業日	休業日	1/7(月)は、全業務午後4時までの営業となります。ATMの稼働は午後3時30分迄の稼働となります。
-----	-----	----------------------------------------------------

### ◆鶴居地区の皆様へ

- 生産資材に関することは、田中課長 (090-5074-2374) に連絡して下さい。
- 万一、配合飼料が無くなった時は、田中課長もしくは大松運輸 (57-8888) に連絡して下さい。

### ◆白糠地区の皆様へ

- 生産資材に関することは、大石課長 (自宅6-2734 携帯090-1640-0376) に連絡して下さい。
- 給油スタンドに関することは、給油所 (2-2084) に連絡して下さい。
- 万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸 (0154-57-2777) に連絡して下さい。

### ◆幌呂地区の皆様へ

- 生産資材に関することは、泉課長 (090-7055-1541) に連絡して下さい。
- 給油スタンドに関することは、泉課長 (090-7055-1541) に連絡して下さい。
- 万一、配合飼料が無くなった時は、全酪連釧路事務所 (小松原職員080-5471-3655) か (岡田職員080-6540-4620) に連絡して下さい。

### ◆音別地区の皆様へ

- Aコープは1月4、5日は午後5時までの業務となります。
- 生産資材に関することは、林課長 (090-8905-1705) に連絡して下さい。
- 万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸 (0154-57-2777) に連絡して下さい。
- 給油スタンドに関することは、若狭係長 (自宅6-3707 携帯090-4870-9101) に連絡して下さい。

### ◆人工授精業務、年始の対応について

- 1月2日の人工授精業務につきましては、午前9時30分までの受付分 (厳守) 対応となりますので、よろしくお願い致します。

・万一、交通事故が発生した時は、フリーダイヤル (☎0120-258-931) に電話をして下さい。事故の受付とアドバイスをしてくれます。

編集後記  
EDITOR'S NOTE

□新年明けましておめでとうございます。農業を取り巻く情勢は、世界経済が日々変化するなか、激動の時代を進んでおります。第29回JA北海道大会で決議されましたJAグループ北海道が目指す将来ビジョン「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』」「時代に即した協同組合の価値創造」「食と農でつながるサポーター550万人づくりの拡充」の実現に向け、今後も引き続き組合員及び地域の皆様方とともに取り組んで参ります。本年が皆様方にとりまして、実り多い年となりますよう心からご祈念申し上げます。

表 紙

□表紙の写真は鶴居・音羽橋で撮ったタンチョウです。早朝、雪裡川のねぐらから力強く飛び立つタンチョウの姿が大変印象的です。